

第1版：2026年6月22日作成

おおいた健診センターを受診された方々へ

おおいた健診センターでは健診を受診された方の情報を元に解析を行う、大分市医師会立アルメイダ病院婦人科、大分大学の研究に協力しています。本研究への情報の使用を拒否される場合はお申し出ください。

【研究課題名】 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行前後での子宮頸がん検診の推移

【研究の対象】

2015年4月1日から2026年03月31日までにおおいた健診センターを受診し、子宮頸がん検診を施行された方。

【研究の目的・方法について】

子宮頸がんは、主にヒトパピローマウイルス（HPV）感染を原因として発生するがんであり、わが国では若年から中年女性に多くみられる重要な婦人科悪性腫瘍です。子宮頸がん検診は、がんになる前の異形成や早期の子宮頸がんを発見することが可能であり、子宮頸がんによる死亡を減少させる有効な方法として広く実施されています。

2020年以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴い、外出自粛や医療機関への受診控えなどが生じ、全国的に各種がん検診の受診者数が減少したことが報告されています。しかし、地域における子宮頸がん検診受診状況や検診結果がコロナ禍の影響をどの程度受けたかについては十分に明らかになっていません。

そこで今回の研究では、おおいた健診センターにおける子宮頸がん検診受診者の情報を用いて、コロナ禍前後における子宮頸がん検診受診者数の推移や受診者背景の変化について検討します。また、子宮頸部細胞診異常の発見率や要精密検査率についても検討を行い、新型コロナウイルス感染症流行が子宮頸がん検診に与えた影響について明らかにすることを目的とします

【研究期間】

2026年6月22日～2028年3月31日

【研究方法】

2015年4月1日から2026年03月31日までにおおいた健診センターを受診し、子宮頸がん検診を施行された方を対象として、健診結果などの情報を収集します。

【使用させていただく情報について】

本研究では、年齢、性別、体重、腹囲、子宮頸がん検診結果、婦人科診察所見などの情報を大分市医師会立アルメイダ病院婦人科、大分大学へ提供させていただきます。なお、お名前などの個人情報は削除され、匿名化が施されたうえで大分市医師会立アルメイダ病院婦人科、大分大学へ提供されますので、個人の情報は厳密に守られます。この研究の結果はきちんと記録し、学会や医学雑誌に発表されることがあります。しかし、いずれの場合にもあなたのプライバシーに関するすべての秘密を保持することを保証します。

【使用させていただく情報の保存等について】

本研究で収集した健診情報は論文発表後 10 年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、大分市医師会立アルメイダ病院婦人科、大分大学医学部において、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供】

本研究で得た情報を大分市医師会立アルメイダ病院婦人科、大分大学医学部以外の他の機関へ提供することはありません。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称
大分市医師会立アルメイダ病院婦人科 佐藤新平

【研究資金及び患者さんの費用負担について】

費用についてはアルメイダ病院婦人科にて賄い、対象となる方の個人への追加費用は発生しません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

原則的に当センターを受診される方においてはデータを収集し評価させていただきますが、もしご協力いただけないようであればその旨遠慮なくお知らせください。同意されなくても、当センターでは同じように最善の健康診断を提供いたします。何かご質問があれば、大分市医師会立アルメイダ病院担当者に申し出てください。

【研究組織】

研究責任者 大分市医師会立アルメイダ病院婦人科 部長 佐藤新平

【既存試料・情報の提供のみを行う機関】

おおいた健診センター 高山博樹

【問い合わせおよび研究にご協力いただけない場合の連絡先】

大分市医師会立アルメイダ病院担当者 連絡先 大分市医師会立アルメイダ病院婦人科

研究責任者 佐藤新平(さとう しんぺい)

(電話) 097-569-3121

なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。